

コメディリリック第2回「ただのホラー」

「悲鳴」

登場人物

倫之助 ペイリー・チャイルド

吏子 テオ・ポー

お化け シロスコフ

肝試し会場・夜

【L・明転】

恐る恐る肝試し会場を進む二人

【M・怪談―FO】

倫之助 「あくもく俺、肝試しとかマジで苦手な

んだよ…吏子ちゃん平気？」

吏子 「クジで高木君と一緒になれたから私は

平気だよ」

倫之助 「あーそう。じゃあ、前来て」

吏子を前に追いやる倫之助

吏子 「ふふ。守ってあげる」

倫之助 「…そういえばさ。この前のやつ、あれ

あの日だけのやつだから。酔ってたし、勢いでやっちゃったけど、俺、彼女もいるし。あの日だけの真夏の夜の夢ってことで、そんな感じでよろしくね」

吏子 「…」

倫之助 「（一人でビビり出す）え、何か物音し

た？え、何か見えない？あーもうー」

吏子 「高木君」

倫之助 「え、なに？」

吏子 「あのね」

倫之助 「なに？」

吏子 「私…妊娠した」

間

倫之助 「うわああああああ」

【SE・悲鳴】

吏子 「生理来ないの」

倫之助 「うわああああああ」

【SE・悲鳴】

吏子 「（検査薬を取り出して）線が出てる

の」

倫之助 「（目をつむり）見えない」

吏子 「見て」

倫之助 「見えない」

吏子 「見て」

倫之助 「見えない！見たくない」

吏子 「…全部冗談」

倫之助 「え、もー（目を開ける）」

吏子 「嘘です。妊娠してました」

倫之助 「うわあああああ」

「SE・悲鳴」

頭を抱えてしゃがみ込む倫之助

脅かしに出てくるお化け

お化け 「おおおおお」

全く反応しない二人

とぼとぼと帰るお化け

吏子 「高木君大丈夫？」

倫之助 「こ、この世では見えちゃいけないものが見える」

吏子 「おわかり頂けただろうか？」

倫之助 「マジかよ…貯金も何もないよ…」

吏子 「でも私、嬉しいんだ」

倫之助 「え？」

吏子 「私、高木君のことが好きだから嬉しいんだ」

倫之助 「ちよっと待って」

吏子 「ねえ聞いて」

倫之助 「やめて…」

吏子 「私ね」

倫之助 「もうやめてくれ…」

吏子 「この子を産もうと思う」

倫之助 「うわあああああ」

「SE・悲鳴」

吏子 「若い二人だけど一緒に頑張ろうね」

倫之助 「と、友達とかに言った？」

吏子 「ううん、言ってない」

倫之助 「よかった」

吏子 「パパとママには言ったよ」

倫之助 「。パパとママー」

「SE・悲鳴」

吏子 「みんなには高木君から報告してね。

私、自分で言うの照れちゃうから」

倫之助 「吏子ちゃん落ち着こう」

吏子 「名前も考えたんだよ」

倫之助 「そんなことしちゃうダメだ」

吏子 「男だったら星と書いて「すたあ」女だ
つたら姫と書いて「ぷりんせす」」
倫之助 「キラキラネームううううう」

「SEE・悲鳴」

頭を抱える倫之助

脅かしに出てくるお化け

お化け 「おおおおおおおおおおお
おおおおお（長めに踏ん張る）」

全く反応しない二人

首をかしげて帰るお化け

吏子 「高木君大丈夫？」

倫之助 「大丈夫じゃない…」

吏子 「（お腹を押さえて）あ、いま殴ったか
も」

倫之助 「蹴ったって言わない？」

吏子 「もう洋服とか買っちゃう？ベビーカー

買うのは気が早いかなあ」

倫之助 「吏子ちゃん」

吏子 「気が早いかあ？まだ高木君のご両親に

ご挨拶も済ませてないもんね」

倫之助 「そうじゃなくて」

吏子 「結婚式は産まれて落ち着いてからにし

ようね。3人で写真撮るの。素敵」

倫之助 「吏子ちゃん落ち着こう」

吏子 「お腹大きくなったらインスタのストー

リーに上げるんだあ。ハッシュタグ、愛

の結晶、この子のために生きる、幸せ過

ぎてごめんなさい。ふふふ」

倫之助 「吏子ちゃん！落ち着こうって！俺、お

金ないし、音楽やりたいから就職できな

いし、彼女いるし、結婚できる状況じゃ

ないでしょ？現実見よう？」

吏子 「…現実？」

倫之助 「そう。現実」

吏子 「…現実見なきゃいけないのはあなたの

方じゃないの？」

倫之助 「え？」

「M・呪いーC」

吏子 「ホテルに誘ったのは高木君だよね？

「ゴムは？」って聞いたなら「いいじゃ

ん」って言ったのは高木君だよね。私を

妊娠させたのは高木君だよ。この子の
パパなんだよ？あなたはこの子のパパ。
ほらパパだよ。パパだよ」

倫之助

「ち、違う！まだ産まれてない！」

吏子

「私、産むよ？彼女、知らない。お金、
知らない。全部知らない。何にも知らない。
私は産むよ。あなたの子を産むんだ
よ」

倫之助

「ひ、ひい！」

お化けが出てくる

お化け

「お、おお」

すぐに異変を察知して引込む

吏子

「私は産む。高木君。私は産む。あなた
の子を産む。私は産む。私は産む、私は
産む、ワタシハウム、ワタシハウム、ワ
タシハウム：ワタシハウム：ワタシハウ
ム：ワタシハウム：」

倫之助

「う、うわああああ！お願いです！お願
いします！見逃してください！見逃して
ください！」

吏子

「（婚姻届けを出して）ねえ、高木君、
これにハンコ押して」

倫之助

「こ、こんいん…とどけ…」

吏子

「ねえ、押して、ハンコ、作ってあるか
ら、早く、ほら、押して、押しなさい、
押せ、押せ、オセ、オセ、オセ、オセ、
オセ…」

倫之助

「押せない…押せないよお…」

吏子

「う…うう…」

〔M・呪いーFO〕

うづくまる吏子

倫之助

「え？」

吏子

「つわりが重くて…」

倫之助

「つ、つわり？」

吏子

「苦しいよお…つわり苦しいよお…高木
くん…助けてえ…お願いい…」

倫之助

「ど、どうすれば」

吏子

「お願いい…ハンコ押してえ…ハンコ押
してえ…押してくれたら大丈夫う…お願
い…押してえ…ハンコお…助けてえ…
助けてえ…ハンコお…押してえ…押して
え…高木くん…」

倫之助 「ごめん…ごめん…本当に…ごめんなき
い…」

吏子 「早くう…高木くうん…早くう…早くう
…ほらあ…ねえ…ハヤクオセエエエエ
エエエ!!!」

【SEE・悲鳴】

倫之助 「うわあああああああ」

逃げ去る倫之助

間

ゆっくりと空を見上げる吏子

姿を現すお化け

お化けの気配に気づき一人、話し始める吏子

吏子 「妊娠したって嘘なの…彼に振り向いて
欲しかったから…やっぱり届かなかった
なあ…私にはいつまでも星の王子様。輝
いて届かない星の王子様」

そっと吏子を抱きしめるお化け

泣き出す吏子

肩に手を置き自分の正面へ吏子を向けるお化
け

吏子 「私のこと、わかってくれますか？」

お面を外すお化け

お化けの顔を見た瞬間、がっかりした様子で肩
の手を振り荒い颯爽と消える吏子

【L・暗転】

——了——